

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- ・作業前に、「オート便器洗浄」(F3W・F3・F2・F1以外)(P.42)「オートふた開閉」(RHO・F2・F2A・F1・F1A以外)(P.44)を「切」にしてください。

ネオレストの場合

流動方式

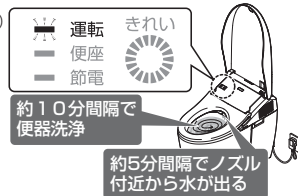
便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。(点滅：緑色)

■設定のしかた (P.50)

・リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- ・運転ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄する
- ・約50mlの水が5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)

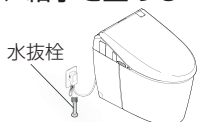


ヒーター付便器・水抜併用方式

1 水抜栓を操作して、給水を止める

お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内の水が抜けずに凍結破損するおそれ)

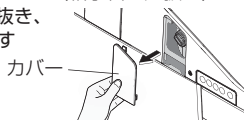


2 配管の水を抜く

① ノズル きれい 押し

- ・ノズルカバーが開く(給水管の圧抜き)

② 電源プラグを抜き、カバーをはずす



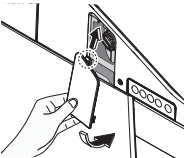
③ 給水フィルター付水抜栓をはずす



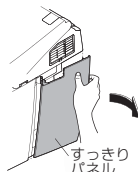
④ 水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓を取り付ける

- ・ドライバーで確実に締める

⑤ カバーを取り付け、電源プラグを差し込む



3 すっきりパネル(右)をはずす



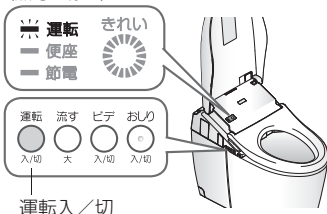
4 タンクの水を抜く

- ・すっきりパネル裏側のラベル「タンク内水抜き作業手順」を参照する

5 ウォシュレット本体表示部の運転ランプが点灯していることを確認する

- ・点灯していない場合は、ウォシュレット本体操作部の「運転入/切」を押す

(点灯：緑色)



6 便座温度を「高」にする (P.22)

- (保温のため)
- ・作業後は、便座・便ふたを閉めておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(P.55)

お知らせ

・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。

アプリコットの場合

1 止水栓を閉める

- ・給水が止まる

⚠️注意

止水栓を開けたまま、給水フィルター付水抜栓をはずさない(水が噴き出す原因)

●水抜栓がある場合

- ・水抜栓を操作して給水を止める

お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)

2 ロータンクの水を抜く

- ・ロータンクレバーを大洗浄側に回す



3 配管の水を抜く

① ノズル きれい 押し

- ・ノズルカバーが開く(給水管の圧抜き)

② 電源プラグを抜き、カバーをはずす



③ 給水フィルター付水抜栓をはずす



④ 給水ホース内の水を抜く



⑤ 水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓を取り付ける



- ・ドライバーで確実に締める

⑥ カバーを取り付け、電源プラグを差し込む



4 ウォシュレット本体表示部の運転ランプが点灯していることを確認する (P.9)

5 便座温度を「高」にする (P.22)

(保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく)
■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(右記)

再通水のしかた (水抜き後)

1 止水栓を開けるまたは、水抜栓を操作して、給水する

- ・配管やウォシュレットから水漏れしていないことを確認する

2 電源プラグをコンセントに差し込む

3 ノズルから水を出す

- ① 便座の左側を押したまま、
- ② リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す(水は紙コップなどで受ける)

■残水が凍結して水が出ないとき

- ・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める

■ネオレストの場合は、手順④⑤が必要です。

4 リモコンの「流す大」を押して水を流す

- ・タンクに水がたまっていないときは、便器洗浄できません。その間はすべての操作をしないでください。タンク給水中は、ウォシュレット本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると、点灯に変わります。(タンク給水時間：約30秒)

5 便器に水がたまってから、もう一度「流す大」を押す